所沢市立美原中学校

学校だより No 9

令和４年度　第９号
１２月２３日（金）

学　校　教　育　目　標
・進んで学ぶ生徒（知）
・心豊かな生徒（徳）
・たくましい生徒（体）

限られた時間を感じ、真の感謝を知る。

今年も、あと数日となってしまいました。この2022年は、今までのコロナにより制限されてきた経験を生かし、少しずつ今までの生活が復活しつつありました。更にこの苦悩の中から工夫と努力で新しい生活スタイルも築きつつあります。私も含め、人が当たり前の毎日が送れることに感謝できるのは、当たり前の生活ができなくなった時や、自らの命が尽きるかもしれないと実感したときなのかもしれません。私は、皆さんより歳を重ねています。普通に寿命を考えると皆さんより残り時間が少なくなったからでしょうか、毎日の当たり前の生活に本当に感謝ができるのです。当たり前のように面談で生徒と話し、学校生活を送り、当たり前のように夜空に輝く月や星空を美しいと感じ、沈んだ太陽も次の日の出勤時には、また基地の彼方から輝かしく昇る日の出となるのです。しかし、人は、忙しさが続くとその感謝や感動を気付かずに過ごしてしまいます。これもまた真実ですので、できるだけ多くの人に何気ない毎日に感謝できるような自分にしてもらいたいのです。改めて、この年末年始は、当たり前を振りかえり、ひと時の大切さを感じ、かみしめる機会にしていただければと切に思います。

さて、今年の３月にガンジー氏の言葉に触れてお話しました。今日は、もう少し、詳しく触れさせてもらいます。随分前の話ですが、私は、元旦の新聞一面に「インド独立の父」と呼ばれたマハトマ・ガンジー氏の写真が載っていたのを観ました。正式名は、モハンダス・カラムチャンド・ガンジーと言われますが、日本では、慣例的にマハトマ・ガンジーと呼ばれているようです。マハートマーとは、「偉大なる魂」という意味があるようです。ガンジー氏は、ご存じのとおり、「人種差別の解放」や「イギリスからの独立」・「非暴力、不服従運動」などで活躍した人として有名で多くの言葉も残しています。私は、その多くの言葉の中でもやはり、**「明日死ぬかのように生きよ。永遠に生きるかのように学べ。」**という言葉に惹かれたのです。ガンジー氏は、危険な状況の中でも多くの民衆の前で演説を行い、命がけで民衆にいかに生きるかを説きつづけていました。そんなある日、銃弾を受け、命を落としてしまいました。しかし、銃弾に打たれ倒れたガンジー氏が最後に犯人に向けて語った言葉、それは**「許す」**の言葉だったのです。私は、その最後に放たれた言葉に強い信念の深さと一人の人間の偉大な生き様を強く感じます。それは、「いかに一瞬一瞬を大切に悔いのないように生きる」と伝わるのです。人は、生まれ、そしていつの日か命の尽きる日を迎えます。これは、誰の元にも平等に訪れる真理です。そんな長い区切りでなくても自分の限られた時を、1シーンと考えれば、いくつも区切れる期限があります。例えば今年があと数日で終わり、新たな年を迎えること、そして6月に入学式を行った記憶の新しい3年生は、もう卒業まで何日と数え始めること、今送っている中学校生活は、卒業式を経て、まもなく義務教育の終了を告げること。そこから毎日の生活様式は、変わりますが、終了と同時に新しい生活のスタートで

もあるので希望を抱く瞬間となります。1．2年生の現在も同じクラスの皆さんと人間関係など様々なことに今紆余曲折しながら前に進んでいると思います。それも3月の修了式が来ると終了になります。このような例えでも、わかる通り、始めがあれば終りがあります。しかし、それさえも、命が尽きることに比べれば、その深刻さは、まったく違います。又皆さんが生きる限り繰り返す、望む出会いや出来事も、望まざる出会いや出来事など、そのひと時を考えても感じ方は、様々です。

ですから「一期一会」の精神と言うのでしょうか、一瞬一瞬を二度とない時間と捉え、有り余るかのようにある時間を無駄にせず、一時一時を大切に過ごし毎日訪れる時間、その一時を少しでも感謝を感じながら過ごしてほしいのです。

これから数日後に新しい年を迎えます。私は、2022年の皆さんの取り組みに敬意を表すとともに2023年がどのような当たり前になろうとも、皆さんにとって限られた中学校生活や自分の人生の一時を大切にできることを心から願っています。

最後に保護者の皆様には、今年も美原中学校の教育活動にご協力とご理解をいただきましたことに感謝申し上げます。又、新年が生徒並びに保護者の皆様にとって健やかにお迎えできることを心より祈願しております。

朝の連絡時間のお礼！

先月の学校だよりにおいて、朝の連絡時間のお願いをさせていただいたところ多くの方のご協力があり、この時間の連絡がほとんどなくなり、生徒のために必要な連絡時間が確保されています。早速のご理解とご協力ありがとうございます。今後も重ねて朝の会議の時間、８時１５分～８時３０分を避けての連絡にご協力いただけますようお願いいたします。

自転車乗車時のヘルメット着用についてのお知らせ 3

以前の学校だより及び通知にて自転車の事故防止を目的とした、本校のヘルメットの着用の導入についてお知らせしました。ヘルメットを着用の開始は、3 学期（移行期間）からとなっています。過日、本校のヘルメット着用の要綱をお配りしましたので再度ご確認ください。（再度ご覧になりたい方は、本校 HP にも掲載しております）3 学期は、完全実施までの移行期間としますが、その中で*安全基準「SG」マークについても述べられています。*その他にも各団体から出された基準がありますが、本校では、*SG マークが保障制度*（使用状況あり）を、本校の基準としております。（他校でも多く採用されています。）また、保護者の皆様の購入際には、SG マーク付きのヘルメットの方が多少高価なものが多いようですが、（インターネットを使用した購入等）安全基準の確保のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

校長見聞録

先日、七組のクリスマス会に招待をいただき、管理職二人でトナカイとサンタに分かれ参加させていただいた。昨年着任したときにあった美原中学校の伝統のサンタの衣装では、満足できず、大手通販会社を使用し、学校着で様々なグッツをそろえた。トナカイさんも大手量販店で奥様を説得し、高品質のトナカイグッズをそろえた。つたない担当の二人であったが、本気で取り組んだ大人二人と衣装やグッツの効果があったようで、生徒たちや保護者の皆さんには、少しは、喜んでもらえたのではないかと自負している。私は、家でめったに学校の仕事のことを話すことはないが、この日は、少々気分も高揚していたのか自慢げに話をしていたようだ。うっすらと微笑みを浮かべ話を聞いていた妻が最後に一言。「随分いろいろグッズそろえていたもんね！」と言われ、（頭の中で！）「どうしてわかった？」正気に戻った。厳しい現実がある。